

NDC オープンデータ化への要望について(署名集めのお願い)

呼びかけ：図書館関係者有志一同

本年、日本図書館協会から日本十進分類法(以下、NDC)10版が公開されました。日本十進分類法の20年ぶりの改訂ということで各地で注目されています。NDC10版をまとめた日本図書館協会は公益社団法人として公共の利益のためにつくることが求められる団体であります。そこで作成されたデータは、それを社会に対してオープンにすることが公共の利益・社会の発展に直接的に寄与するものである場合には特に、公共データに準ずる存在であることが期待されているともいえるでしょう。

公共データの公開については、総務省なども広く自由に(二次利用可能な形で)公開することを提案しており¹⁾、近年では多くの自治体でもデータをオープン化する動きが進んできています。また、オープンデータを利用するための活動も各地で活発化してきました。オープンデータを利用しようとする人々へのアンケートでは常に上位に日本十進分類法があげられるという状況もあります。

しかし、日本図書館協会(以下、JLA)は現在のところNDC8版および9版のLinked Data化についての研究を国立国会図書館(以下、NDL)との共同で始めたにとどまっており、この研究成果をオープンにする(LOD化)とも明言されていません²⁾。

言うまでもなく、NDCは図書館の資料組織の中心的なツールであり、日本中の図書館で利用されているだけではなく、図書館外も含めて図書館の管理を行うさまざまな局面での利用も広がっています。このように社会的にも大きな意味がある基本的なデータを社会の基盤とするためには、自由に利用できる(オープンに公開される)環境を整えることが極めて重要であると思われまます。

そこで、少なくともJLAとNDLが共同で行っているNDCのLinked Data化の成果をオープン化することを要望すべく、署名を集めることといたしました。別紙に示す「NDCの利用促進およびLOD化に関する要望書」(Web公開もしております³⁾)に賛同いただける方からいただいた署名を集約し、本年末を目処にJLA理事長に提出したいと考えております。本提案の趣旨にご賛同いただき署名いただくとともに、皆様のまわりで賛同いただける方の署名を集めていただければ幸いです。お集めいただいた署名は、以下にお送りください(申し訳ありませんが、郵送料はご負担ください)。よろしく願いいたします。

送付先住所 〒305-8550 茨城県つくば市 春日 1-2
筑波大学図書館情報メディア系 逸村裕研究室内
NDCオープン化署名取りまとめ窓口 宛

また、電子メールでの送付も受け付けております。自署いただいた署名をスキャナーで読み取った上で以下のメールアドレスにお送りください。

スキャンデータ送付先
ndclod@gmail.com (エヌ・ディー・シー・エル・オー・ディー@gmail.com)

1) 総務省ホームページ. オープンデータの活用.

http://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/ictriyou/opendata/opendata01.html#p1-1

2) 日本図書館協会. 分類委員会からのお知らせ

<http://www.jla.or.jp/committees/bunrui/tabid/578/Default.aspx>

3) NDCの利用促進およびLOD化要望書

<http://ndclod.in.coccan.jp/>